

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

定部金貳錢 一ヶ月拾錢 三ヶ月貳拾錢 半年四拾錢 一年八拾錢 廣告費 五字十二行 十字二十行 二十字三十行 印刷費 別日大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日三十二月七

洋生句帳(洋生會七月例會)

げじく

- ◇ 蜘蛛這ふやお茶受を出す はげし益 茂竹樓
- ◇ 蜘蛛に夕餉の閑樂崩れけり 一夢
- ◇ 跌坐の僧動かす蜘蛛の這ひ廻る 閉月
- ◇ 過去帳の微臭しげじく 耕影
- ◇ 蜘蛛の影大いなる隙子かな 松子
- ◇ 蜘蛛に肩をひそむる妻なりし 孤舟
- ◇ げじく出で、又雨と書 天仙
- ◇ 日記かな

げじくの大きく這ふや古壺 文狂

油皿に見しげじくの骸かな 何鳴

げじくに青微匂ふ壺かな 同

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 看護婦會 電話三〇七番

平町細屋町(縣社通り)

美味イロキ食堂 評判 オの部電話四六〇番

貸家案内

白銀町商店向	金貳拾圓
仲間町動人向	金五圓五十錢
全全	金五圓五十錢
全全	金拾圓
全全	金四圓五十錢
全全	金七圓五十錢
全全	金拾圓
全全	金拾圓
全全	金五圓五十錢
全全	金五圓
全全	金八圓

加藤營業所 白銀町(電話三三番)

各種ナ体讀書 寒暖計 関内藥局 電話四〇番

夏衣陳列

の柄な粹
地衣浴ツ一ボス
たかゆ優女 み好一タス
種數廿形中外 形中胸入
すまひ願を命用御ぞうど

目丁三平 屋田龜

梅毒 淋病

門專 婦皮膚淋 人膚病 病病

院醫科 腸胃性 村松
(七〇一話電町南平)

花柳科專門 木村外科醫院

入院自炊の便あり
平町五丁目橋際 電話三〇九番

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一一番

藥舖並食堂開業

田町三六 (從來の藥局跡)

宇佐美藥舖

右同所 田町食堂 (鮮魚仕出し)

三丁目郵便局前 移轉 宇佐美藥局

御愛顧願上ます (傳染病預防の爲)
無代進呈 (日本一のガマ印蠅取紙一人二枚宛呈上)

吉田眼科醫院

正札堂

いや……君、見違ひたよ
いや洋服を求めた
いやコレカネ……
例の「ソレ」



り通車停町平 堂札正

光線新設 物理學的診療法

主任 醫學博士 難波 陸

衛生試驗所 技師 中藤 波
衛生試驗所 技師 小西 陸
藥局長 吉本 孝平

御大典記念事業トシテ
一、衛生試驗所 (共濟病院内)
二、救氣相談所 (共濟病院内)

◎入院自炊ノ便アリ ◎看護婦見習募集

共濟病院

平町(電話六四一番)

内科

院長 醫學博士 難波 陸
副院長 醫學士 五十嵐 雄二

外科

內科部長 中西 林藏
整形外科 レントゲン科專門 氏家 憲次
外科部長 醫學士 桂重 次

産婦人科

産婦人科部長 五十嵐 雄二
醫學士 川添 正道
顧問 醫學博士 賀澤 忠治
本院醫學士 岡 蕃
本院囑託 法學士 賀澤 忠治

◎共濟會員診察無料 ◎一般患者初診壹圓

中元御贈答には ヤマフルの商品券が一番

醬油味噌 たひら正宗 鯉節食料品

金山崎合名會社

鹽屋

福島縣平町 電話(營業部) 二七〇番 (醸造工場) 二七〇番

商港復活運動に 小名濱決死の覚悟

白タスキ隊を組織して けふ有志百餘名上京

濱口内閣の緊縮政策の餘波を受け四十年來の努力も水の泡となる小名濱修築中止問題はその他町同様に決死の猛運動も甲斐なく全

絶望の 状態に陥つたので更に同町多数有志が結束して小名濱修築繼續

祈願團體を組織し二十二日午前一時役場に集合し二時湯本驛發列車にて上京午前九時明治神宮に参拜祈願し更に内務省を訪れ

猛運動

をなすことなつたが一行は百餘名から成り團長には飯塚榮一郎氏を推し更に四班に分ちて班長を行政區長とし何れも白タスキ甲斐々々しく運動繼續中は一切酒氣を帯びざる事を誓ひ決死的の運動をなす

八月廿五日行ふ 公 民 体育大會

競技種目決定す

平町青年團主催平公民體育第三回大會は来る八月廿五日午前七時半から警中グラウンドに於て開催するが競技種目は
百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、一萬米、八百リレー、走幅跳、走高跳、ホップ、テップ

悪代書人を征伐 平検事局が嚴重に

處都合に依り午前六時一分にて出發する事になつた

平町を中心として石城地方には行政代書人が司法代書人の免許なくしてこれを行ひ或は代書依頼人より多額の費用を取り且種々の問題をとらへて悪用しればかりか検事局へ提出すべき種類は不備に流れ取扱上にも支障を來すもの多數に上りざるに鑑がみ平検事局では嚴重に處罰する方針で早速實行することになつた

登山時間變更 白銀町の富士登山團體は既報の如く午前九時一分平驛發の

登山時間變更 白銀町の富士登山團體は既報の如く午前九時一分平驛發の

小川、大野、内郷各村に昨今梨の葉に黒星病が發生蔓延しつゝあり場所によつては殆んど全滅状態を呈してある有様で郡農會では目下栽培家及び各農會と協力してボルドー液等を撒布極力

平のラヂオ商

ハを曲げて怒る

放送局の診察は

仙臺放送局では石城地方のラヂオファンのため平町白銀町日東ラヂオ商會内に特にラヂオ診療所を開設する二十日より放送局相談部相川技手外一名が出張二日間

石城地方

におけるラヂオ商はHKと連絡を保つて居りわれわれに一言の話しもなくしかも同業の日東商會に會場を指定したなどいふことはわれわれを侮辱したものであるとの意見を吐いて放送局を極度に

五十鈴出發

けさ四百五十名を便乗せしめて

小名濱港に碇泊中の軍艦五十鈴は本縣濱通り及び茨城縣下の海軍兵備點呼を終了し、二十二日午前七時一發乗込四百四十名を便乗小名濱港を出發同日午後三時半宮城縣鹽釜港に入港宮城縣下の點呼を行ふ筈である

落盤で壓死

小野田坑の椿事

磐崎村上湯長谷小野田炭礦支柱夫秋田縣生れ齋藤松吉（三）は二十一日午前八時半頃同坑斜坑南層坑附近で作業中俄然大音響と共に天盤が落下して壓死した

飛下り慘死

自動車進行中 乗客の奇禍

石城郡渡邊村大字出部精米業草野茂（三）は廿日午後三時頃泉村大字瀧尻大平芳春方運轉手三島長太郎（三）の操縦せる自動車に乗り泉村地内國道を進行中洋傘を落したので拾はんとして飛下りた爲顛倒頭部を強打し即死を遂げた

溺死せんとする 一兒を救ふ

滑津川で勇敢な 老人着衣のまゝ

石城郡高久村字下高久農鈴木林之助（五）は去る十五日午後四時ころ自宅附近滑津川水深十二尺の箇所同村鈴木うめ（五）矢吹とよ（〇）の兩名が浮きつ沈みつして溺死せんとして居るのを發見老齡にも拘らず着衣のまま河中に飛び込み辛うじて兩兒を救助したが近く人命救助でその筋から表彰される筈

夏秋蠶指導 講演會

日割決定

たので附近醫師を招んで手當を賜へた結果中毒と判明二十日死亡した平署で検視を行ふと同時に、目下それ〴〵調査中である

坑夫の妻また サバに當る

手當したが死に

磐崎村上湯長谷小野田炭礦職工竹田定吉の妻の妻渡邊セキ（三）は十八日夕刻鯖チマリを行商人より求め食したところ程なく苦悶を始め

募集

文藝其他投稿を募集します

磐崎、永戸△二十五日鹿島、好間、神谷△二十六日赤井

明日の天気

南寄の風 晴れ氣温 上る